

香村 賢吾さん（博士前期課程2年）が化学工学会山形大会 2023 において関東支部長賞（学生奨励賞）を受賞しました

令和 5年8月8日から9日にかけて山形市の山形テルサで行われた化学工学会山形大会2023において、大学院自然科学研究科 材料生産システム専攻 素材生産科学コースの博士前期課程2年 香村賢吾(こうむら けんご)さんが関東支部長賞学生奨励賞を受賞しました。

様々な化学品製造プロセスで用いられる晶析工程において、高純度の結晶製品を生産するには、結晶化の推進力である過飽和度をプラントスケールで制御し、不純物成分の混入を回避しながら目的成分の結晶を選択的に成長させる必要があります。香村君は、核燃料廃棄物を模擬した硝酸塩系水溶液からの硝酸アルミニウム晶析分離において滴下冷却法を適用することで、従来法を凌ぐ分離効率を達成するとともに、均質性の高い結晶粒子群の製造に成功しました。香村君の今後の活躍が期待されます。

発表者：香村 賢吾（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程2年）

指導教員：三上 貴司 准教授

演題名：滴下冷却晶析法を用いた模擬核燃料廃棄物からの硝酸アルミニウム分離

